

今が正念場、感染に厳重な警戒を！

兵庫県内の新規感染者は、現在 1 日当たり 100 人を超える状態が続いており、西播磨地域においても増加しています。県では警戒指標の最高レベルを超える「感染拡大特別期」とし、全国的にも感染が拡大傾向にある中、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、改めて、感染防止徹底の注意喚起と外出自粛等の要請を行っています。

市民の皆様や大切な方の生命・健康を守るため、感染拡大を食い止めなければなりません。

皆様一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが重要です。一層のご理解、ご協力をお願いします。

今後も、相生市の取り組み状況につきましては、全戸配布のチラシ、市ホームページで随時発信しますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

令和2年11月28日

相生市新型コロナウイルス対策本部 本部長

相生市長 **谷口 芳紀**

〈 市民の皆様へお願い 〉

1 外出自粛等の要請

東京、大阪など、感染拡大地域への不要不急の往来を控えてください。

高齢者、基礎疾患のある方は、不要不急の外出を控えてください。

飲食店を利用する場合は、家族や介助者等を除き「4人以下の単位」ごとになるよう、ご協力をお願いします。

2 ウイルスを家庭に持ち込まない

外とのつながりのある人が家庭にウイルスを持ち込まないように、行動や健康管理に注意しましょう。特に若者は注意してください。

毎日検温を実施するなど、ご自身の健康管理に留意し、発熱など症状のある場合には、通勤・通学を含め外出を控えるとともに、電話で医師等と相談してください。

感染防止の基本となるマスクの着用、手洗い、身体的距離の確保、3密（密閉・密集・密接）の回避など、「ひょうごスタイル」に取り組んでください。

冬期を迎え暖房を使用する場合でも、換気や適度な保湿をお願いします。

発熱等の症状があれば、かかりつけ医など地域の身近な医療機関や、「発熱等受診・相談センター（保健所）」「健康相談コールセンター（全県）」に電話相談してください。

接触確認アプリ「COCOA」、兵庫県新型コロナウイルス追跡システム」の利用をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面 飲酒を伴う懇親会等

飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面 大人数や長時間におよぶ飲食

長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面 マスクなしでの会話

マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面 狭い空間での共同生活

狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため感染リスクが高まる。寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面 休憩室、喫煙所、更衣室等

仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

